

## 平成30年度決算概要報告

### ◆法人全体

項 目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	H30決算	H30当初予算	予算差引(①-②)	H29決算	前年度差引(①-④)	
経常費用合計	74,697	74,684	13	72,188	2,509	
経常収益合計	74,843	74,427	415	72,612	2,231	
経常利益	145	▲256	402	424	▲278	
臨時損失	179	-	179	21	157	
臨時利益	477	-	477	323	154	
当期純利益	444	▲256	700	725	▲281	
目的積立金取崩額	322	256	65	328	▲5	
当期総利益	766	-	766	1,053	▲287	
経常損益+目的積立金取崩額	468	-	468	752	▲284	
経常収支比率※	100.2%	99.7%	0.5%	100.6%	▲0.4%	※経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

※「法人全体」の金額は、内部取引を加味しているため3セグメントの合算額とは一致しません。

### ◆大学

項 目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	H30決算	H30当初予算	予算差引(①-②)	H29決算	前年度差引(①-④)	
教育経費	1,561	1,568	▲6	1,458	103	フィッシングメール対策費(+45)、データサイエンティスト育成事業(+34)、LAN環境改善費(+23)、単価上昇による光熱水費の増(+15)
研究経費	3,510	3,374	136	3,637	▲126	・イノベーションシステム整備事業終了に伴う減(▲320) ・単価上昇による光熱水費(+79)、受託研究費獲得額増に伴う経費(+42)、知財関連経費(+32)、かもめプロジェクトの費用(+26)、施設管理費の増(+24)
人件費合計	7,671	7,795	▲123	7,643	27	
役員人件費	42	46	▲3	42	-	
教員人件費	5,201	5,400	▲198	5,362	▲160	・定期昇給(+50) ・人員増減(▲79) ・退職給付費用市負担分の減(▲140)
セグメント人件費振替額	85	88	▲3	51	34	
職員人件費	1,964	1,888	75	1,820	143	・定期昇給(+20) ・人員増減(+32) ・一般職制度開始に伴う増(+94)
退職給付引当金繰入	377	371	5	366	10	
一般管理費等	932	770	162	826	106	租税公課(+39)、人給システム更新費(+37)、WEBサイト改修費等(+7)の増
減価償却費	799	817	▲17	886	▲86	
経常費用合計	14,476	14,325	150	14,451	24	
運営費交付金収益	7,304	7,426	▲121	7,259	45	・期間進行基準(+113):DS分学費対象経費交付額の増、施設整備費の入札残に伴う収益増 ・費用進行基準(▲67):市在籍期間退職費用の減
授業料収益等	3,113	2,988	124	3,071	41	授業料+40(26.8億→27.2億):DS1年65人+その他9人
外部資金合計	2,870	2,725	145	3,166	▲295	※収益≠獲得額 ※収益=費用
受託	2,042	2,014	27	2,019	22	獲得額の増※うち間接経費+18(358→376)
奨学寄附金	590	554	36	581	9	獲得額の増 ※うち間接経費▲4(47→43)
補助金	237	156	81	565	▲327	・イノベーションシステム整備事業・COC補助金終了に伴う減(収益化額)(▲416) ・新規補助金(DS・共同研究拠点等)採択に伴う増(+57)
資産見返負債戻入	568	563	4	652	▲84	
雑益等	724	514	209	541	183	・その他雑益+134(93→227):特許技術移転料の増(+124) ・財産貸付料収入(NMR利用料)+6(43→49)
経常収益合計	14,581	14,218	362	14,690	▲108	
経常利益	105	▲107	212	238	▲132	
臨時損失	62	-	62	19	42	・PCB処理費用を環境対策引当金として引き当てることに伴う増(+62) ・H29理科館解体に伴う除却損の減(▲20)
臨時利益	67	-	67	126	▲59	退職一時金制度変更に伴う退職給付引当金の戻入の減▲58(125→67)
当期純利益	110	▲107	217	345	▲234	
目的積立金取崩額	121	107	14	117	3	
当期総利益	232	-	232	463	▲231	
経常損益+目的積立金取崩額	227	-	227	356	▲129	
人件費比率※1	52.6%	54.8%	▲2.2%	52.0%	0.6%	
経常収支比率※2	100.7%	99.3%	1.5%	101.6%	▲0.9%	

※1 大学人件費比率 = 人件費 / 経常収益

※2 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

項 目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	H30決算	H30当初予算	予算差引(①-②)	H29決算	前年度差引(①-④)	
診療経費	14,154	13,635	519	13,142	1,012	
うち医薬品費	6,367	5,757	610	5,578	789	・新入院患者数増による増 ・高額医薬品の使用量増による増
うち診療材料費	3,429	3,381	48	3,288	141	・手術件数増による増
うち光熱水費	518	518	-	503	15	
教育・研究・受託研究・一般管理費等	635	598	37	447	188	・受託研究費獲得額増に伴う支出増(+157)
人件費	12,482	12,590	▲108	12,203	278	
教員人件費	1,740	1,703	37	1,578	162	・人員増(+130) ・定期昇給(+11)
セグメント人件費振替額	225	290	▲64	316	▲91	
職員人件費	10,120	10,213	▲93	9,945	175	・定期昇給(+90) ・人員増(+82) ・給与改定による増(41)
退職給付引当金繰入	395	383	12	363	31	
減価償却費	1,547	1,619	▲72	1,538	8	
経常費用合計	28,819	28,443	376	27,331	1,488	
運営費交付金収益	2,729	2,601	128	2,645	83	・資産取得案件の減及び入札残等による増
運営交付金交付額	2,964	2,928	36	3,012	▲48	
資産取得分等(施設設備等)	▲234	▲327	92	▲366	131	
附属病院収益	24,717	24,501	216	23,524	1,193	
うち入院収益	16,069	16,443	▲374	15,530	538	・新入院患者数の増 ・手術件数の増
うち外来収益	8,398	7,838	559	7,824	573	・外来化学療法件数増(+459件)による増
資産見返負債戻入	469	495	▲25	463	5	
補助金等収益	212	207	5	201	11	
雑益等	756	576	180	538	218	・受託研究収益の増(+167)
経常収益合計	28,887	28,381	505	27,374	1,512	
経常利益	67	▲61	128	42	24	
臨時損失	39	-	39	1	37	・特定共同指導に伴う診療報酬(過年度分)の医療保険者への自主返還金(+36)
臨時利益	11	-	11	87	▲75	・退職一時金制度変更に伴う退職給付引当金の戻入(▲75)
当期純利益	39	▲61	101	128	▲88	
目的積立金取崩額	83	61	22	66	16	・数理計算上の差異(+16)
当期総利益	123	-	123	195	▲71	
経常損益+目的積立金取崩額	150	-	150	109	41	
入院単価	78,380円	77,730円	650円	75,235円	3,145円	
入院患者数(のべ数)	203,948人	210,240人	▲6,292人	204,581人	▲633人	
新入院患者数	15,961人	15,574人	387人	15,061人	900人	
病床利用率	85.4%	88.0%	▲2.6%	85.7%	▲0.3%	
平均在院日数	12.8日	13.5日	▲0.7日	13.6日	▲0.8日	
外来単価	17,790円	16,846円	944円	16,650円	1,140円	
外来患者数/1日	1,930人	1,896人	34人	1,916人	14人	
手術件数	6,621件	6,450件	171件	6,239件	382件	
医薬材料費比率 <sup>※1</sup>	39.6%	37.3%	2.3%	37.7%	1.9%	
人件費比率 <sup>※2</sup>	50.5%	51.4%	▲0.9%	51.9%	▲1.4%	
経常収支比率 <sup>※3</sup>	100.2%	99.8%	0.4%	100.2%	0.1%	

※※単価、患者数等は小数点以下を表示していないため、見た目の計算結果が合わないことがあります。  
 ※1 医薬材料費比率 = (前年度繰入額+当期医薬材料購入額-翌月(年)繰越額) / 附属病院収益 (翌月(年)繰越額は前月(年)繰入額と同額と仮定して計算しています。)  
 ※2 病院人件費比率 = 人件費 / 附属病院収益  
 ※3 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

第3期中期計画目標値

- ・平均在院日数 14日
- ・医薬材料費比率: 38%
- ・人件費比率: 50%

項 目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	H30決算	H30当初予算	予算差引(①-②)	H29決算	前年度差引(①-④)	
診療経費	15,907	16,332	▲424	15,576	331	
うち医薬品費	6,787	6,701	86	6,560	227	・外来化学療法(+520件)等のがん治療の増
うち診療材料費	4,261	4,535	▲273	4,218	43	・手術件数の増
うち光熱水費	647	668	▲21	613	33	・ガスの単価及び使用量の増
教育・研究・受託研究・一般管理費等	499	547	▲48	488	11	
人件費	14,082	14,130	▲47	13,426	656	
教員人件費	2,546	2,601	▲55	2,349	196	・医療機能拡大による人員増(+138) ・超過勤務手当の増(+33) ・定期昇給(+12)
セグメント人件費振替額	▲310	▲378	67	▲367	57	
職員人件費	11,347	11,437	▲90	10,984	362	・医療機能拡大による人員増(+134) ・定期昇給(+126)
退職給付引当金繰入	499	469	30	459	40	
減価償却費	965	905	59	914	51	・本館諸室改修工事(+22)等による増
経常費用合計	31,455	31,915	▲459	30,405	1,050	
運営費交付金収益	1,574	1,520	53	1,520	53	
運営交付金交付額	1,959	1,959	-	2,115	▲155	
資産取得分等(施設設備等)	▲385	▲439	53	▲595	209	・救急棟UPS装置更新費用繰越(+80)
附属病院収益	29,039	29,520	▲480	28,220	818	
うち入院収益	19,112	19,636	▲524	18,641	471	・新入院患者数の増 ・手術件数の増
うち外来収益	9,621	9,530	90	9,262	359	・外来化学療法件数増(+520件)
資産見返負債戻入	300	274	26	267	33	
補助金収益等	83	74	9	69	14	
雑益等	429	436	▲6	469	▲39	・受託研究収益の減(▲54)
経常収益合計	31,428	31,827	▲398	30,548	880	
経常利益	▲27	▲88	61	143	▲170	
臨時損失	77	-	77	-	77	・PCB処理費用を環境対策引当金として引き当てることに伴う増(+45) ・適時調査における指摘事項に関する自主返還金(過年度分)(+32)
臨時利益	398	-	398	108	289	・退職一時金制度変更に伴う退職給付引当金の戻入(+19) ・保険請求と未収期末残高との差異(+362)
当期純利益	293	▲88	382	251	42	
目的積立金取崩額	117	88	28	143	▲26	・数理計算上の差異(▲26)
当期総利益	411	-	411	395	15	
経常損益+目的積立金取崩額	90	-	90	143	▲52	
入院単価	79,676円	82,000円	▲2,324円	77,979円	1,697円	
入院患者数(のべ数)	238,382人	238,491人	▲109人	238,599人	▲217人	
新入院患者数	20,022人	19,400人	622人	19,273人	749人	
病床利用率	90.0%	90.0%	0.0%	90.0%	0.0%	
平均在院日数	11.9日	12.3日	▲0.4日	12.4日	▲0.5日	
外来単価	19,677円	20,500円	▲823円	19,222円	455円	
外来患者数/1日	1,998人	1,900人	98人	1,954人	44人	
手術件数	8,698件	8,550件	148件	8,568件	130件	
医薬材料費比率 <sup>※2</sup>	38.1%	38.1%	▲0.0%	38.2%	▲0.1%	
人件費比率 <sup>※3</sup>	48.5%	47.9%	0.6%	47.6%	0.9%	
経常収支比率 <sup>※4</sup>	99.9%	99.7%	0.2%	100.5%	▲0.6%	

※※単価、患者数等は小数点以下を表示していないため、見た目の計算結果が合わないことがあります。  
 ※1 医薬材料費比率 = (前年度繰入額+当期医薬材料購入額-翌月(年)繰越額) / 附属病院収益 (翌月(年)繰越額は前月(年)繰入額と同額と仮定して計算しています。)  
 ※2 病院人件費比率 = 人件費 / 附属病院収益  
 ※3 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

第3期中期計画目標値

- ・平均在院日数 12日
- ・医薬材料費比率:38%
- ・人件費比率:50%